



生徒が課題として提出した、自宅で行った調理の写真

活用場面

個別学習

個に応じた学習

家庭学習

活用した機器等

Chromebook

活用したアプリ等

Google Classroom

Google Forms

カメラ機能

タイムスタンプ	クラス	2021年度 オレンジページ	ジュニア料理選手権	トライアル部門エントリーシート
2021/8/6 〇〇:〇〇	〇組	〇〇〇〇〇	お鍋とごぼうの炊き込みご飯	炊き込みご飯は初めてでしたが、とても上手にできたと思います。お鍋にこのお肉がのりよく、鶏と生姜も一緒に炒めて、美味しくいただきました。家族もとても美味しくいただきました。お肉が柔らかいので、とても美味しくいただきました。お肉が柔らかいので、とても美味しくいただきました。
2021/8/28 〇〇:〇〇	〇組	〇〇〇〇〇	お鍋とごぼうの炊き込みご飯	お肉とお肉を炒めて炊き込みご飯を作りました。お肉とお肉を炒めて炊き込みご飯を作りました。お肉とお肉を炒めて炊き込みご飯を作りました。
2021/9/3 〇〇:〇〇	〇組	〇〇〇〇〇	お肉かないお鍋	お肉がないお鍋を作りました。お肉がないお鍋を作りました。お肉がないお鍋を作りました。
2021/9/7 〇〇:〇〇	〇組	〇〇〇〇〇	お肉かないお鍋	お肉がないお鍋を作りました。お肉がないお鍋を作りました。お肉がないお鍋を作りました。

料理選手権応募のためのエントリーシート下書き

活用のねらい

コロナ禍のため、令和3年度の1学期から夏休みにかけては、ハンドメイド部の「調理実習」を伴う学習活動ができなかったが、学校に届いた「オレンジページジュニア料理選手権」に応募することで、部員が同じ課題・テーマに取り組み、グループ調理が難しい状況の時でも、ICT端末を使って部員と教員、部員どうしが繋がりをもちながらクラブ活動に取り組むことをねらいとした。

ICT活用のポイント

「オレンジページジュニア料理選手権」のトライアル部門「自宅で調理実習」に応募することを決め、各自が自宅で作った料理を写真に撮って応募することにした。

ハンドメイド部のClassroomを作成し、教員と生徒、生徒どうしの連絡ややりとりはClassroom内で行った。生徒はできあがった調理の写真を撮影する。また、エントリーシートの必要項目は事前に顧問がGoogleFormsに落とし込み、生徒が家庭から投稿できるようにした。集まった作品を顧問が集約し、個人情報保護の観点から学校から一括して応募することにした。

活用のメリット、実践の工夫・振り返り等

校内での調理実習が難しかったこの時期に、生徒にとって外部応募は励みの一つとなった。自分の実践に対して、外部の団体から評価をもらえることは、生徒の自信となる。また、同じ部門にエントリーをしている他校の高校生の斬新な提案や実践から学ぶことは大変多く、生徒のモチベーションを高めた。

自宅で調理を行い、自分が作った料理の写真と家族など食べた人の感想や一連の調理を通して気付いたことなどを言葉で表現することが応募条件であったため、この実践を介して、家族間の新たなコミュニケーションが生まれたようである。家族から「おいしい」という言葉をもらって素直に「うれしい」と感じ、料理の楽しさに気付く生徒や、毎日調理をしてくれる家族への感謝の気持ちを述べる生徒が多かった。

対面での献立作成やグループ調理には、助け合いや教え合いがある。今後、このような取り組みを行う時には、Classroomを第2のクラブ活動空間とするべく、共同編集機能を使ってクラウド上で各自が考えた献立やレシピにコメントを書き込んだり、Meetでつながってアドバイスをし合ったり励まし合ったりするなど、生徒どうしが協働的に学んでいける方法を取り入れていきたい。